

第33回

# 茨城 建築 文化 賞



境町

〒306-0495 茨城県猿島郡境町391-1  
電話 0280-81-1300(代表)  
URL <https://www.town.ibaraki-askai.lg.jp/>  
面積:46.59平方キロメートル  
(令和2年7月1日現在)  
人口密度/総面積(平方キロあたり):  
561.4人(令和2年10月1日現在)  
常住人口:24,061人(令和2年10月1日現在)  
世帯数:8,890世帯(令和2年10月1日現在)



は、フィリピンのマリキナ市と姉妹都市協定を締結して、ALT 27人を招へじて、5歳児から英語教育を実施しています。また、ハワイ州のホノルルとは、企業版ふるさと納税を活用して実施している「境町ウイーク」の開催などを契機として、友好交流都市協定を締結し、境町の子どもたちがホノルル市への英語留学やホームステイができるよう、取組を進めています。昨年は、コロナ禍の影響で、ホノルル市のホームステイはできませんでしたが、姉妹校となっている学級同士でオンラインの交流を行うことができ

きました。こうした取組により、どんな収入の方でも、境町へ来れば無料で英語を学べるという環境づくりを進めています。

## 境町の将来像

施策を進めるに当たり一番肝心なのは、マーケティングをしっかりとを行い、そのなかでターゲットを確実に絞り込み、的確な政策をスピード感をもつて実施することです。境町では先進的な取組を行っている全国の自治体の優れた事例に学びながら政策を進めています。実際に観察に伺い、良いと思ったら積極的にまねは先進的な取組を行っている全国の自治体の優れた事例に学びながら政策を進めています。実際に観察に伺い、良いと思ったら積極的にまねをして、境町に適した形で即座に取り入れています。

國道の開通により、境町を含む沿線自治体は発展の契機を迎えた。的確な政策をしっかりと打てば、確実に効果が表れるものと確信しています。

今後も広く全国から良いところを学び、また、互いに影響しあってより良いまちづくりを行い、境町が選ばれるまち、「住みいいまち」であり続けるよう、取り組んでいきたいと考えています。

## おわりに

今、政治に求められているのは「スピード感」だけではなく、「アカウンタビリティ(説明責任)」も必要とのことです。町民に向けて納得していただけるのが最優先ですが、町議会や町職員の皆さんにも政策や考えを発表前に事前に説明しているという。そうすることで誰もが政策を説明でき、結果的に町民にも理解されるように配慮しているとのことでした。PFIの活用をはじめ、公用車を中古車にするなど、徹底的な経費の削減とあわせて、ふるさと納税や各種交付金をうまく活用した定住移住促進や自動運転バスの導入など、新しい政策を次々に打ち出す境町。「良いと思うことは、すぐ実行することが大切です。真似をしてても良いので、境町にどしまらず皆が行動することで、結果的に社会全体が住みやすくなることにつながればと考えております。」

と仰っていた橋本町長。町長の舵取りを皆さんのが期待し、また信頼して、ある方向へ向かって一丸となって進んでいる町が境町であるということを肌で感じた取材となりました。益々のご活躍を祈念しております。

## 茨城県議会議長賞[優秀賞]

### 石岡市庁舎

- 株式会社 久米設計 住所/東京都江東区潮見2-1-22 電話/03-5632-7310
- 協力事務所 構造/伊藤丸、熊王皓一 電気/深井憲治、瀧谷寧浩  
機械/伊藤学、田中美穂 施工会社/フジタ平建設 特定建設工事共同企業体
- 建物所在地/茨城県石岡市一丁目1番地 ⑥ 建物用途/市庁舎(事務所) ⑦ 構造/RC造一部S造  
建築面積/3,337.63m<sup>2</sup> ⑧ 延床面積/9913.61m<sup>2</sup>



### 災害に強く自然エネルギーを取り入れた 自然豊かな石岡を感じる庁舎

石岡市は古く常陸国の中心地である国府があつたとされ、常陸風土記にある「常世の国」と称される古代日本の豊かな国のイメージがある。また、八郷地域に代表される自然豊かな地域性を持っており、日本百名山である筑波山が地域のシンボルとなっている。その筑波山をモチーフとして、石岡が豊かな歴史性や地域性に呼応した、まちの景とつなぐダイナミックなシルエットの庁舎を作り出し、木屋根構造による地域産材の質感を実感できる内部空間により、自然

豊かな石岡の「まちを感じる庁舎」となった。また、免震による耐震性の確保や無天井化による内部の安全性確保、災害時のエネルギーのバックアップ等の災害対策により想定外の災害被害を想定した「災害に強い LCB 庁舎」とすると共に、大屋根した屋根型のソーラーシステムを採用し、地中熱や井戸水の利用など自然エネルギーを積極的に取り入れた「先進型庁舎」を実現した。



### 「工場」という概念を壊した快適な生産拠点

創業60年目の春、東日本大震災で地域のランドマークだった旧社屋が大きく被災した。「操業しながら建て替えを」という要望に応え、ひたちなか市初の全体計画認定適用、8年をかけて全館が完成した。機械が機械をつくるのではなく「人間が主体」の、医療光学とは半導体機器の次世代生産拠点である。

那珂台地に座する敷地に最大の製造エリア(21,416m<sup>2</sup>)とその周縁にテラス回廊(2,141m)を廻し、上部を主動線下部を設備回廊に。更新性を実現しつゝ全体に視界が抜けるひと総合施設と空調計画は中央部と周辺緒きのコミュニケーション空間とした。

構造と空調計画は中央部と周辺緒きのコミュニケーション空間とした。

「時代に応えるモノをつくる建築」でなんぞうかと考え、既成の「工場」という概念を壊し、地域の次世代を担う「人がモチつくる大きな家」をイメージして、快適な生産拠点を試みた。

建築

工場

次世代

を代

きな家

をイメージ

して

快適な生

産拠点

を試みた。

時代に応えるモノをつくる建

築

工場

次世代

を代

きな家

をイメージ

して

快適な生

産拠点

を試みた。

時代に応えるモノをつくる建

築

工場

次世代

を代

きな家

をイメージ

して

快適な生

産拠点

を試みた。

時代に応えるモノをつくる建

築

工場

次世代

を代

きな家

をイメージ

して

快適な生

産拠点

を試みた。

時代に応えるモノをつくる建

築

工場

次世代

を代

きな家

をイメージ

して

快適な生

産拠点

を試みた。

時代に応えるモノをつくる建

築

工場

次世代

を代

きな家

をイメージ

して

快適な生

産拠点

を試みた。

時代に応えるモノをつくる建

築

工場

次世代

を代

きな家

をイメージ

して

快適な生

産拠点

を試みた。

時代に応えるモノをつくる建

築

工場

次世代

を代

きな家

をイメージ

して

快適な生

産拠点

を試みた。

時代に応えるモノをつくる建

築

工場

次世代

を代

きな家

をイメージ

して

快適な生

産拠点

を試みた。

時代に応えるモノをつくる建

築

工場

次世代

を代

きな家

をイメージ

して

快適な生

産拠点

を試みた。

時代に応えるモノをつくる建

築

工場

次世代

を代

きな家

をイメージ

して

快適な生

産拠点

を試みた。

時代に応えるモノをつくる建

築

工場

次世代

を代

きな家

をイメージ

して

快適な生

産拠点

を試みた。

時代に応えるモノをつくる建

築

工場

次世代

を代

きな家

をイメージ

して

快適な生

産拠点

を試みた。

時代に応えるモノをつくる建

築

工場

次世代

を代

きな家

をイメージ

して

快適な生

産拠点

を試みた。

時代に応えるモノをつくる建

築

工場

次世代

を代

きな家

をイメージ

して

快適な生

産拠点

を試みた。

時代に応えるモノをつくる建

築

工場

次世代

を代

きな家

をイメージ

して

快適な生

産拠点

を試みた。

時代に応えるモノをつくる建

築

工場

次世代

を代

きな家

をイメージ

して

快適な生

産拠点

を試みた。

時代に応えるモノをつくる建

築

工場

次世代

を代

きな家

をイメージ

して

快適な生

産拠点

を試みた。

時代に応えるモノをつくる建

築

工場

次世代

を代

きな家

をイメージ

して

快適な生

産拠点

を試みた。

時代に応えるモノをつくる建

築

工場

次世代

を代

きな家

をイメージ

して

快適な生

産拠点

を試みた。

時代に応えるモノをつくる建

築

工場

次世代

を代

きな家

をイメージ

して

快適な生

産拠点

を試みた。

時代に応えるモノをつくる建

築

工場

次世代

を代

きな家

をイメージ

して

快適な生

産拠点

を試みた。

時代に応えるモノをつくる建

築

工場

次世代

を代

きな家

をイメージ

して

快適な生

産拠点

を試みた。

時代に応えるモノをつくる建

築

工場

次世代

を代

きな家

をイメージ

して

快適な生

産拠点

を試みた。

時代に応えるモノをつくる建

築

## 茨城新聞社賞【優秀賞】下妻中学校校舎

●株式会社 三上建築事務所 住所／茨城県水戸市大町3丁目4番36号 電話／029-224-4066 ●協力事務所 構造／NASアトリエ・ザイン室  
 ●建物所在地／茨城県下妻市長篠字新田東乙37番2,37番14,37番15,長篠新田宿瀬乙38番1  
 ●建物用途／中学校 ●構造／一部S造 ●建築面積／3,818.49m<sup>2</sup> ●延床面積／8,397.89m<sup>2</sup>

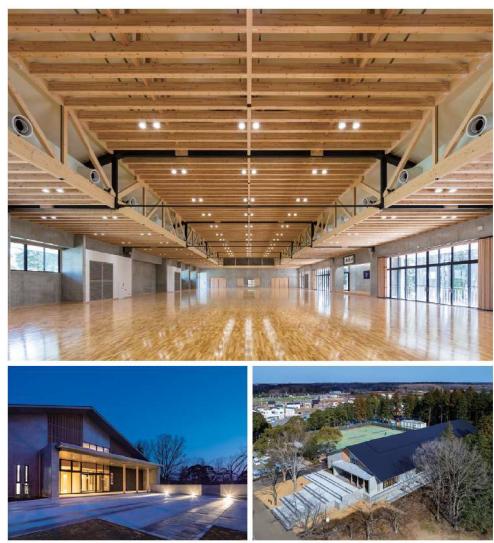


## 【県建築士事務所協会長賞】平成29・30年度 牛久運動公園 武道館新築工事

●株式会社 若柳建築事務所 住所／茨城県つくば市台町1丁目8番地1 電話／029-886-8034 ●協力事務所 構造／株式会社 宮田構造設計事務所 施工会社／大昭・木村特定建設工事共同企業体  
 ●建物所在地／茨城県牛久市下横町1400番地 牛久運動公園内 ●建物用途／武道館 ●構造／鉄筋コンクリート一部鉄骨造及び木造 ●建築面積／1,962.29m<sup>2</sup> ●延床面積／1,694.26m<sup>2</sup>

### 和を基調とした重厚感ある道場

和を基調とした重厚感ある道場  
 道場は約49.7m × 約22.0mの大きさを持ち、各種武道が公式規格で競技可能な空間である。  
 屋根は切妻屋根で軒を深く出することで日照をコントロールし、省エネに配慮した。建物正面には冠木門をイメージした玄関庇を採用、重厚感があり、「和」を基調とした外観を持つ。  
 主構造は耐久性に優れた鉄筋コンクリート造だが、道場の上部構造は屋根の軽量化、意匠性を考慮し、木造と鉄骨造を組み合せたハイ



### 筑波山などの風景を感じながら楽しく活動的な学校生活を送れる空間

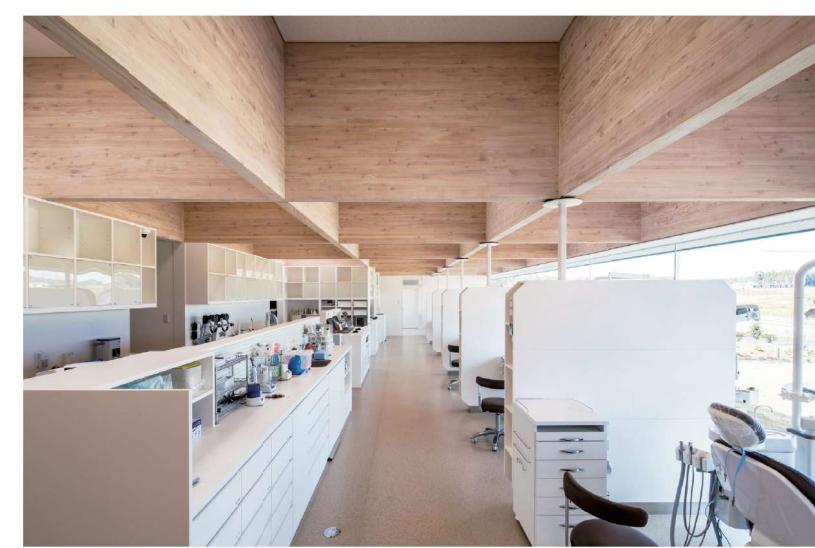
下妻中学校は砂沼の西隣に位置し、東に紫峰筑波を望むことができる場所にある。

西側の正門から正面彼方に見える筑波山に向かう軸線上にプロムナードを設け、新校舎はその軸線を協調するよう100mを超える長さで直線的に配置した。階ごとに異なる表情を持たせ、砂沼の水面と呼応するよう水平性を協調した。

昇降口前には学校の顔となる大屋根を掛け、棟の深い大らかな構えの空間を設けた。昇降口から中

に入れば、大階段が子供たちを迎える。休み時間の交流や多目的に使える場を校舎の中心に設けて、生徒たちが楽しく活動的な学校生活を送れるようにした。この大階段の南側に普通教室群、北側に特別教室群と、明快に機能を配置しながら、筑波山や砂沼の風景が感じられる内部空間とした。

また、千鳥壁によつてX-Y方向ともに耐震壁を設ける強度型の構造を実現し、扁平柱とウォールストラップによって凹凸のない内部空間を可能にした。



## 茨城県土木部長賞【優秀賞】 変わりゆく景色がある歯科医院 山王歯科

●株式会社 andHAND 建築設計事務所 住所／茨城県つくば市東新井29番地13 電話／029-855-3055  
 ●建物所在地／茨城県桜川市高森1027 ●建物用途／診療所(歯科医院) ●構造／木造 ●建物面積／299.88m<sup>2</sup> ●延床面積／298.17m<sup>2</sup>

### オーブンな空間と、包まれた空間の二面性を両立した建築を未来につなぐ歯科医院

診察台から四季や時間とともに美しいうつろう景色を見下ろすことができる歯科医院を実現した。四季折々の草花が植えられた庭園と、その先の公園を見るように幅27mの大開口を開けた。

スタッフの移動しやすいオープン

な空間と、患者が穏やかな感覚を

感じることができる包まれた空間

の二面性の両立を図るために、厚み105mm、高さ1,150mmの木

集成材の梁を「診察エラート」を基

準単位とした2・4mm間隔で格子

に組み、構造体がユニットを緩やかに隔てる。

診察台を起こした際の先に広がる

倒した際の視線の先にある木に閉

まれた空間の「半個室」感覚の中で

に広がる木格子が浮かびあがる。

これから市の中核を担う場所で、

診察を受けることのできる歯科医

院とした。

外から市の中核を担う場所で、

周辺に住まう人々と建築を未来につなぐ、地域に開かれた歯科医院となつた。



## [入選] アイダ設計 プレカット事業部 茨城工場

●株式会社 アイダ設計 住所／埼玉県さいたま市大宮区桜川1丁目286番 電話／050-3173-2546 ●協力事務所 構造／株式会社 ホルツト一級建築士事務所 ●建物面積／463.73m<sup>2</sup> ●延床面積／891.49m<sup>2</sup>  
●建物所在地／茨城県坂東市緑の里11番地 ●建物用途／工場、事務所 ●構造／木造、鉄骨造



### 極めてシンプルでありながらも アイデンティティを可視化した建築

住宅品質の根幹を担うプレカット工場の設計では、「集成材の塊に、正確な精度管理によってノコギりを入れ、必要な部分を無駄なく取り出す」というプレカット加工の生産プロセスを建築化することをデザインのコンセプトとした。

巨大なマスス塊から、見学者用通路、トラックバースの大庇事務棟などの工場に必要なボリュームをスライドして取り出すという手法により、極めてシンプルで機能的な空間構成でありながらも、アイデンティティを

可視化した建築となった。事務棟の大空間を木のデザイントラスで構成し、エントランスの正面壁には120°角の端材をランダム貼りし、吹抜空間の壁は耐震壁を兼ねるひね柱と杉板を表しとした。全71本のトラス形状は全異なり、1本のトラスに対して4つの層の羽柄材を特殊ビスで組み合わせた工法を採用している。工場棟の約100m続く見学者通路はキャンディレバーで浮遊させて外観にダイナミズムと緊張感を生み出した。

## [入選] さくらがわ地域医療センター

●株式会社 伊藤喜三郎建築研究所、株式会社 andHAND建築設計事務所 住所／東京都豊島区高田2丁目17-22 白石中野ビル、茨城県つくば市東新井20番地13 電話／03-5954-7631、029-855-3055 ●協力事務所 構造／株式会社 オムニ設計 ●建物用途／病院 ●構造／鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 ●建物面積／5,318m<sup>2</sup> ●延床面積／10,400.99m<sup>2</sup>  
●建物所在地／茨城県桜川市高森1000 ●建物所在地／茨城県水戸市見和 1号館で住宅 ●構造／木造 ●建物面積／33.97m<sup>2</sup> ●延床面積／114.27m<sup>2</sup>



### 地域に根差し 災害に強く人命を守り抜く病院

さくらがわ地域医療センターは、桜川市と筑西市の既存病院を再編統合する一環で計画された。一次救急を担いつつ、院内に健診センター、訪問看護ステーションを併設し幅広いサービスを提供する。立面上は遠方に望む筑波山の稜線をイメージし、真壁の地区伝統の藍染をイメージした藍色のタイルや特産の「稻田石」を、また「ランプボール」正面に「真壁石」を使用する等、地域に根差し病院デザインを目指した。1階の外来部門では、各ブ



## [住宅部門最優秀賞] 笠間の家

●若瀬卓也建築設計事務所 住所／茨城県常陸太田市鶴木町86番地 電話／0294-72-6121  
●建物所在地／茨城県笠間市 ●建物用途／住宅 ●構造／木造  
●建物面積／88.22m<sup>2</sup> ●延床面積／122.55m<sup>2</sup>

### 陶芸の町で四季折々の風情を 感じるための空間

陶芸の町に建つ、既存のケヤキとサクラを愛てる30代夫婦の住宅。建物の東側には立ち上がり姿が端整なケヤキの大木がある。建物へのアプローチは、このケヤキを中心に戸塀を描くように計画した。

また、建物の内部に入づてもその園路性を保つため他の庭が足元で広がる低い開口部を設けている。敷地の南側と南東側は丘陵の山野草や果樹が茂る傾斜部に開われ、その縁辺部には建主の原風景であるサクラが並ぶ。

1階ホールに対し、2階吹抜の開

口部は桜並木に向かえ大きく開いた。眺めは他の季節においても丘陵の緑が非常に心地よく、プライバシーの観点からも問題なく開放的になれる場所である。

一方で和室においては丘陵の緑を直接望む開口部は設けていない。この和室は、その多様な山野草を飾り棚の輪挿し・笠間焼に生じるための空間として在る。陶芸の町に住むという意識が向かられた建主の思いを凝縮した設えと言える。



## [住宅部門優秀賞] 水戸の家

●株式会社 サンガハウス一級建築士事務所 住所／茨城県水戸市見和2-547-3 電話／029-257-6566  
●協力事務所 構造／株式会社 エヌ・エヌ・エヌ一級建築士事務所  
●建物所在地／茨城県水戸市見和 1号館で住宅 ●構造／木造 ●建物面積／33.97m<sup>2</sup> ●延床面積／114.27m<sup>2</sup>

### 地域と環境を生かした豊かな空間

地域社会、環境負荷を配慮した省エネ住宅です。

この地に育まれ成長した建主。

近隣との細やかな交流はあり、建

主の成長を見守ってきた住区。温

暖化の緩和策としての住宅の省エネ化と対応策としての庭前庭はペ

ンチを設えコモンとして近所に開放。

水戸の染色技術、「水戸黒」を模した外観色。

家族の成長を時間軸で整理しこ

ンパクトながらも外部環境と呼応させ豊かな空間を目指した。

意匠・構造・温熱の三位一体を基に設計し、ZEH・耐震等級3・耐



ロングライフ住宅を仕様とし、風等級3・省令準耐火を仕様とした。

水戸の豊富な冬季日射量を活かすべく窓は南面に集約し日射熱を室内へ蓄熱し暖房負荷を抑えている。今冬は無暖房での生活を送ることができる。一方太陽高度が高くなる夏季は、軒の出袖壁、格子戸、植栽等の建築的工夫で日射遮蔽を行い町並みに配慮した。

生かしたデザインは、住まいの手だけではなく町並みや社会を豊かに出来ると信じている。

# 筑茨第33回 建築文化賞

審査委員 ※敬称略・順不同・役職は令和2年10月現在

長島一道(国立大学法人筑波技術大学理事)/熊澤貴之(国立大学法人茨城大学工学部都市システム工学科准教授)/加藤研(独立大学法人筑波大学芸術系助教)/足立信幸(茨城県土木部技監兼都市局建築指導課長)/江原秀明((一財)茨城県建築センター理事長)/柴和伸((一社)茨城県建築士会会長)

## [リフォーム賞]

# 筑波山麓の古民家再生住宅

●株式会社 カナザワ建築設計事務所 住所／茨城県水戸市吉沢町268-3 電話／029-246-6312 ●協力事務所 施工会社／木内建工工業  
●建物所在地／茨城県つくば市 ●建物用途／専用住宅 ●構造／木造 ●延床面積／187.79m<sup>2</sup>

筑波山麓にある民家。敷地内を  
流れる小川によじて、常に穏やかな  
水の音が聞こえる。  
住まいは母屋と廊下で繋がった  
離れで構成されている。離れは昔、  
土浦市内にあったお城の城内から  
移築されたといわれており、面  
付柱・面白いデザインの障子、襖が  
大きな特徴。施工からしてできるだけ  
改修前の雰囲気を残すことと、  
全て自然素材で作るという要望が  
離れて構成体はゆがみが多く苦  
労したが、棟梁が工夫しながら、工  
事を進めてくれた。計画、設計、工  
事と時間がかかるが更に素晴らしい  
仕上がりになり、次の世代に大切  
に住み継がれることを嬉しく思う。

# 講評

筑波技術大学 理事 長島 一道

茨城建築文化賞の

# 講評

筑波技術大学 理事 長島 一道

茨城建築文化賞の

(第一次審査の経緯)

第33回の令和元年度は2020年3月17日に審査員6名が出席して第一次審査を実施した。今回の建築審査は力作に恵まれた。

第一次審査会場で展示された全作品を審査員が評議し、各部門の得票数は以下の通りである。得票数の多い方から順に、得票数の多い順に評議を行った。得票数の多い順に評議を行った。得票数の多い順に評議を行った。

得票数の多い順に評議を行った。得票数の多い順に評議を行った。得票数の多い順に評議を行った。

得票数の多い順に評議を行った。得票数の多い順に評議を行った。

得票数の多い順に評議を行った。得票数の多い順に評議を行った。

得票数の多い順に評議を行った。得票数の多い順に評議を行った。

得票数の多い順に評議を行った。得票数の多い順に評議を行った。

得票数の多い順に評議を行った。得票数の多い順に評議を行った。

(第3回審査の結果)

令和元年度の第一次審査は、新型コロナ感染症対策のため年度を跨いで、半年後に実施された。

10月17日に審査員4名で作品の現地審査を行った。

その後、最終審査会場に場所を移した。

その結果、「ヨコハマ電気工業社屋工場1+2期」が最

得票数を集め、優秀賞に決まった。順次審査対象



# リフォーム賞 北茨城の家 古民家再生 子供たちに残す故郷

●有限会社 吉田建築計画事務所 住所／茨城県石岡市石岡1-1-8 電話／029-563246 ●協力事務所 施工会社／株式会社 福島工務店  
●建物所在地／茨城県北茨城市 ●建物用途／専用住宅 ●構造／木造 ●延床面積／170.52m<sup>2</sup>



## 明治から令和へ「暮らしの記憶」大切にした 子供たちに残す故郷

北茨城の家は、阿武隈山系の山々に囲まれた建物正面には田畠の防災拠点となるC型C型の梁柱として、敷地段差に合わせた免震装置、落とし止の八ヵム構造木造大屋根、木造材使用の屋根構造、独立非常用電源があり、大型機器による暖炉システム、地中熱等再生可能エネルギーによる温熱環境機能的な間取り、シナリオなど、現代の暮らしにあつた住まいとして、3世代6人家族の

からはじまった計画です。

建築10年ほど経過した古民家

を、大黒柱・手斧削りの梁・差し鶴

居間など、かつての「暮ら

し」の記憶を大切にしながら、耐震性・温熱環境機能的な間取り、インテリアなど、現代の暮らしにあつた住まいとして、3世代6人家族の

板張りの構成としました。

北茨城地方ならではの伝統的な

設えと、明治から令和へと歴史的の流

れを大切に継承しつつ、古民家なら

を継承し、大屋根はいぶし瓦、軒先は金属板で葺き、壁は塗喰と下見

れが長い時間軸の中で醸し出さ

れた味わいある建物となりました。

最後に大工さんはじめ多くの熟

練した職人技に支えられて完成

した事を深く感謝申し上げます。

スホール、多目的ホールがあり、イベント時は五つの境界を取り払い、内外一体的なイベント活動空間に身を置いて楽しめる点も良い。

防災拠点となるC型C型の梁柱として、敷地段差に

合わせた免震装置、落とし止の八ヵム構造木造大

屋根、木造材使用の屋根構造、独立非常用電源が

あり、大型機器による暖炉システム、地中熱等再生可能エネルギーによる温熱環境機能的な間取り

を実現した。

市民が利用しやすい構成、地元要素を取り込んだ

上質な意匠、構造機器の総合力としての成果が評価された。

デザイン、安心できる防災拠点としての成果が評

上げた意匠、構造機器の総合力としての成果が評

価された。

王木部長賞 言わゆる景色がある歯科医院山

日本歯科医学会会員としての活動に貢献

され、歯科医院としての活動に貢献

された歯科医院としての活動に貢献

口に入るもの毎日登校生徒達が行き交う大階段が出来たり、これら連続の間に流れが好みます。

新校舎は東に臨む建築波山麓に接する斜線

を意図した10mを超える層の建築となっていました。

印象深い2階の教室群コアでは、中央部上部

吹抜からラウンド側に向かって廊下オーブン

ペースカラスルームバルコニーと連続した凹凸のない

空間が広がり、現在の多様な学習活動にラベキシ

ルに対応する場を提供しています。

この構造密なラミネートとデザイン、そして扁平柱と梁型の出ないウォータースラブの秀逸な構造設計

に基いた建築が評価されました。

各構造が本格的で競技可能な広さを確保す

るため、道場の主構造は耐久性に優れた筋骨コンクリート造り、上部構造は屋根の軽量化意匠性

の冠木門をイメージした玄関庇は、武道場としての重厚感を保証しています。

各種武道の公式規格で競技可能な広さを確保す

るため、道場の主構造は耐久性に優れた筋骨コン

クリート造り、上部構造は屋根の軽量化意匠性

を考慮した県産ヒノキ集成材と鉄骨で組み合

わせたハイブリッド構造を採用している。その

構造が本格的で競技可能な広さを確保す

るため、道場の主構造は耐久性に優れた筋骨コン

クリート造り、上部構造は屋根の軽量化意匠性

を考慮した県産ヒノキ集成材と鉄骨で組み合

わせたハイブリッド構造を採用している。その

構造が本格的で競技可能な広さを確保す

るため、道場の主構造は耐久性に優れた筋骨コン

クリート造り、上部構造は屋根の軽量化意匠性

を考慮した県産ヒノキ集成材と鉄骨で組み合

わせたハイブリッド構造を採用している。その

※建築文化賞の表記は、申し込み時点のものになります。